

監視伝染病の動向は平穩に推移

新潟県農林水産部畜産課

国内の発生状況

・家畜伝染病

高病原性鳥インフルエンザについては、平成19年1月から2月にかけて宮崎県と岡山県の4農場で発生が確認され、約22万羽が処分されました。しかし、飼養者や管理獣医師からの早期通報と防疫措置により他農場への感染拡大は認められませんでした。

また、牛海綿状脳症（BSE）については、平成19年5月末までに32頭の発生が確認されています。

・届出伝染病

アカバネ病が平成18年9月から11月にかけて九州南部に多発しました。これらの事例では主に子牛・育成牛に後肢の麻痺などの中枢神経症状を認め、アカバネウイルスの生後感染であることが判明しました。ウイルス分析の結果、これまでのように異常産を引き起こすものと病原性は大きく変わっていないことがわかっています。

県内の発生状況

県内における監視伝染病の動向は、比較的平穩に推移しています。

・家畜伝染病

高病原性鳥インフルエンザ及びBSEの発生は認められませんが、県では、引き続き養鶏場からの報告徴求、採卵鶏農場等のサーベイランス及び24か月齢以上の死亡牛全頭検査を実施し、監視体制を強化しています。

ヨーネ病は平成14年以降毎年発生し、平成18年は乳用牛2戸2頭に発生がありました。そのうち1戸は、平成19年1月にも7頭の発生が認められています。県では、「新潟県牛のヨーネ病防疫対策要領」に基づき、患畜の殺処分、発生農場の同居牛定期検査等を実施し、まん延防止と清浄化に努めています。

・届出伝染病

牛白血病は、毎年発生していますが、18年は12戸12頭と前年（6戸6頭）から倍増しており、県内での感染拡大が疑われます。

豚丹毒と豚赤痢は、平成18年にそれぞれ101頭、15頭と前年並みにと畜場で発生が認められました。

家畜の伝染性疾病の発生予防やまん延防止には、日ごろから、農場への病原体侵入防止対策と家畜の観察が重要です。異常畜が認められた場合には、速やかに家畜保健衛生所へ通報するようお願いいたします。

～来たれ、誠実・情熱のある若者よ～

[平成20年度畜産専門職員募集]

当協会では平成20年度畜産専門職員を募集しております。応募資格は昭和58年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法による大学（短期大学を除く。）を卒業した人又は平成20年3月31日までに卒業する見込みの人です。

募集内容

- 1 採用人員 1名
- 2 応募資格 昭和58年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法による大学（短期大学を除く。）を卒業した人又は平成20年3月31日までに卒業する見込みの人
- 3 応募要領
 - (1) 応募締め切り日：平成19年8月31日(金)
 - (2) 提出書類
 - ①自筆履歴書(写真貼付)市販のもの 1通
 - ②学業成績証明書(開封無効) 1通
 - ③卒業見込証明書(既卒者は卒業証明書) 1通
- 4 応募先：社団法人新潟県畜産協会・総務課まで
- 5 採用試験：筆記および論文試験・面接を行う。
 - (1) 第1次試験 筆記および論文試験
 - ①試験日 平成19年9月9日(日)午後1時より
 - ②試験会場 新潟市内（応募者に別途通知）
 - ③試験科目 教養試験・専門試験・小論文
 - (2) 第2次試験 面接

第1次試験合格者について実施
なお試験日・会場については、当該者に直接通知
- 6 合格者の発表

最終合格者については、第2次試験受験者に結果を直接通知する。

※詳細はハローワークおよび畜産協会・総務課、畜産協会のホームページをごらんください。